



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## トピックス

### 平成22年度 森林・林業交流研究発表会を開催



## 2011 国際森林年



近畿中国森林管理局大会議室：発表者の説明を聞く一般傍聴者

11月11日～12日、近畿中国森林管理局大会議室において、近畿中国森林管理局管内の署等職員、高校生や団体等が日頃の業務における研究や創意工夫の成果を発表する森林・林業交流研究発表会を開催しました。

全21課題の発表があり、9課題が表彰されました。

各賞の受賞者は次のとおりです。

### 近畿中国森林管理局長賞(3点)

#### ① 大塔山山頂の森林生態系保全と森林再生への取組 ～守れ！本州南限のブナ林～

和歌山森林管理署 藤木 俊行、末廣 模



#### ② 地域密着型の治山事業の実行について ～貴船地区におけるソフト整備のさらなる充実を図って～ 京都大阪森林管理事務所 坪倉 真、赤木 直樹



赤木氏は所用により表彰式を欠席

#### ③ 間伐木の全量搬出を目指して / その2 ～林地残材の搬出及び販売～

兵庫森林管理署 沢 悠希子、吉坂 英則、岡本 健



**森林総合研究所関西支所長賞（1点）**

**大杉谷国有林（大台ヶ原）における低木層のシカ食害防止対策について**

三重森林管理署 榎谷 仁志、川村 幸義

**林木育種センター関西育種場長賞（1点）**

**簡易な軽量ポットによる挿し木苗技術の開発について**

森林技術センター 中上 真治、山口 歳弘

**日本森林技術協会理事長賞（1点）**

**民国連携による災害防止対策**

山口森林管理事務所 平木 里南、彌源治 茂

**日本森林林業振興会長賞（1点）**

**林道除草機の安全かつ効率的な運用方法の確立について**

岡山森林管理署 仁平 亮、小椋 文男、石原 政一

**森林・林業交流研究発表会審査委員長賞（2点）**

①**学校モデル林事業からの特産品づくり**

～風倒木を利用した木馬～

兵庫県立山崎高等学校 上山 直人、西山 敬太

②**守ろう北山美林使おう磨き丸太**

～保全につながる磨き丸太の有効利用～

京都府立北桑田高等学校 竹内 雅美、福原 良太  
武田 俊成、中川 総一郎

**グリーンサポートスタッフ（GSS）  
を活用した林野巡視**

**【国有林野管理課】**近年、森林に対する国民の要請は、国土の保全及び水源の涵養<sup>かんよう</sup>に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全等における期待が高まっています。こうした背景の中で、近畿中国森林管理局の百名山などでは、入山利用者の増加や登山利用者の集中化、大衆化等に伴い、人為による植生荒廃や森林機能の低下も見られているほか、森林の生態を無視した行為も増加するおそれが生じています。

このため、白山山系周辺の国有林（百名山）、京都市内に所在する世界文化遺産周辺の国有林、紀伊山地の霊場と参詣道周辺の国有林、鳥取県の大江山系周辺の国有林（百名山）、明治の森箕面国定公園に指定されて

いる箕面国有林において、広く一般の方を対象に公募を行い、グリーンサポートスタッフとして、休日や入山者の最盛期の状況に応じた、きめ細やかな巡視活動等を行っていただき、入山利用者等へのマナー指導や啓発活動に取り組んでいます。



巡視活動に行くグリーンサポートスタッフ

看板を見ながら打ち合わせをしている様子

このような取り組みを行うことにより、植生荒廃の未然防止等が期待でき、入山を通して森林とふれあうことで、森林の仕組み、森林との接し方について学べる機会も提供しています。

**地域ニュース****低コスト路網現地検討会を開催**

**【福井森林管理署】**福井県大野市に所在する小沢国有林の保育間伐活用型請負事業地において、「福井森林管理署低コスト路網現地検討会」を開催しました。

福井県県産材活用課参事外、請負事業体、署長外職員を含め約40名が出席し、効率的な間伐を推進するため、近畿中国森林管理局では、高性能林業機械と低コスト路網を組み合わせ、安価な作業システム等の考え方を説明し、請負事業体である九頭竜森林組合のオペレーターによる実演での低コスト路網作設のポイント等の検討を行いました。



重要チェックポイントでの説明に耳を傾ける参加者

当日は悪天候で寒い中にもかかわらず、県の林業関係者及び請負事業体から路網密度や路網経費コスト等について活発な意見が出され、短い時間ではありましたが、国有林をフィールドとして、県・請負事業体・署が参加した有意義な検討会となりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hukui/>

## 遊々の森「森の幼稚園ひかり」 ～森の参観日でネイチャーゲーム～

【奈良森林管理事務所】当所と遊々の森の協定を締結しているひかり幼稚園が、遊々の森「森の幼稚園ひかり」において、「森の参観日・ネイチャーゲーム」を実施しました。

ひかり幼稚園は、園児達を森の中で遊ばせる等の活動を通じて、森林や自然を大切にする気持ちを育てる目的で、幼稚園から徒歩で森林に入ることのできる大亀谷国有林をフィールドとして、保護者と一体となり活動を行っています。

当日は、年長の園児70名と保護者が参加し、まず最初に、大亀谷国有林の危険木処理で発生した約90年生のヒノキ伐採木を利用して、職員が作成した「森の幼稚園ひかり」の看板を、所長から贈呈しました。

続いて、赤膚ネイチャークラブ(ANC)のボランティアの方が主体となり、さまざまな形が書かれた紙と鉛筆を持ち、その形に「見える」ものを探し、自然散策を行う「フィールドパターン」を行いました。

次に、ボール転がしや職員が手作りした平均台で遊び、楽しい一時を過ごしました。



看板の前で記念撮影

林内でボールを転がして遊ぶ園児達

幼稚園から、「立派な看板を作っていただき感謝しています。今日一番のサプライズです。大事に使わせていただきます。」とお礼がありました。

奈良森林管理事務所では、ANCと連携・協力し、ひかり幼稚園の「森の幼稚園活動」をサポートしていくこととしています。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

## 地域イベント3祭典に参加

【和歌山森林管理署】地域の祭典として和歌山県田辺市農林水産業祭、龍神翔龍祭、本宮町こだま祭が各地で盛大に開催されました。当署からは丸太切り、つる籠作り、木製アクセサリ作り等による参加を行い、祭典の盛り上げに一役買いました。

木製アクセサリ作りは、特に人気があり、親子で協力しながら、どんぐり・松毬・枝木を使った自分だけの可愛いアクセサリが出来上がると親子で喜ぶ姿が印象的でした。

森林の恵みを利用した催しは、子供から大人までそれぞれ楽しんでもらうことができ、当署のPRに繋がる有意義なイベントとなりました。



木製アクセサリを親子で作成している様子

写真左：龍神翔龍祭

写真下：田辺市農林水産業祭



林地残材等を加工した製品を販売している様子

写真左：本宮町こだま祭

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/>

## かがみがる 鏡ヶ成国有林に「ふれあいの森」を設定

【鳥取森林管理署】鳥取森林管理署と江府町及びサントリーホールディングス株式会社は12月9日、鏡ヶ成国有林(鳥取県日野郡江府町御机)174haを対象に森林整備活動を目的とする「ふれあいの森」協定を締結しました。

サントリーホールディングス株式会社は、同町御机地内で操業する天然水工場の水源域の森林整備を推進しており、平成19年2月には西鴨国有林(倉吉市関金町)で「法人の森林」契約を59ha、同年6月及び22年8月には鏡ヶ成国有林に隣接する民有林126haで森林保全・管理協定(「とっとり共生の森」)を締結するなど、広範囲で一体的な水源林整備活動を行っています。この度、地元意見の調整役として江府町の参画・協力を得て、鏡ヶ成国有林を加えた新たなフィールドで水源涵養機能を高度に発揮する森づくり活動に取り組むものです。



写真右：サントリーホールディングス株式会社 エコ戦略本部エコ戦略部長 内貴 研二

写真中央：江府町長 竹内 敏朗

写真左：鳥取森林管理署長 塩永博信

また、今回の協定区域は鳥取県のシンボルである秀峰「大山」の東南に位置し、大山隠岐国立公園に該当することから、協定当事者のみならず、学識専門家、地元NPOなどから構成される「鏡ヶ成ふれあいの森運営協議会」を設置し、様々な観点から幅広い意見を募り、もって開かれた活動として反映させることとしています。

鳥取森林管理署においては、氷ノ山国有林、大山国有林に続く管内3箇所目の「ふれあいの森」として、多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森林づくりを推進して行きます。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/>

## 「遊々の森」での体験学習の成果発表

【広島北部森林管理署】三次市立三和小学校で同校5年生児童22名が広島北部森林管理署と協定を結んでいる「遊々の森」名称:たいようの森(若林山国有林)で、この1年間の体験学習を含めた発表会を行いました。

当日は、三次市役所三和支所長と広島北部森林管理署から向原森林官が出席し、班ごとに学習成果の話を中心聞きしました。

また同校と交流を深めている特別支援学校の生徒1名と教職員1名も出席し、手話も交えた交流発表会を行いました。



クラス全員で記念撮影

学習成果の発表をしている様子

児童の一人の高味奈央さんは、「私は1年間の活動で森林が土砂崩れを守ったり、おいしい空気を作る大切な働きをしていることがわかりました。

学校を卒業してからも将来、自分の植えた木がどんなに成長しているか見にきたいです。」と発表しました。

発表後は、担任の的場恵子教諭の指導で「ダイオウショウ」のジャンボマツボックリをベースに、ウラジロシダや木の実など山で採れた素材を使い、各人が世界に一つだけの素敵なミニクリスマスツリーを完成させ1年間の「遊々の森の環境学習会」の締めくくりとしました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

## 「こどもちゃれんじ教室」へ参加

【三重森林管理署】焼尾国有林の「遊々の森」で三重県伊賀市教育委員会が主催する「こどもちゃれんじ教室」の一環として、こども森林教室を開催し、森林のクイズやドングリの植付け、間伐体験等を行いました。

この森は「森林・林業体験交流促進対策」の事業でフィールド整備がされ、林内に入った20名近くの小学生が木々の様々な生態について観察しました。

途中、ヘビが出てきたり、クモの巣に引っかかるなどの様々なハプニングを、ワクワク、ドキドキしながら楽しんでいました。



ドングリの苗木を丁寧に植樹している様子

職員の説明を熱心に聞く小学生

また、大きな白い毒キノコのシロオニタケを見つけるときは、その異形に興味津々で、職員の森林インストラクターによるキノコの生態の説明に熱心に耳を傾けていました。

実際に森林に接し五感を通して森林を感じながら、木を植え、木を切り、それを使うという一連の流れを体験することで、森林や林業を知る機会になりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/>

## お知らせ

### 平成23年度 森林ふれあい推進事業のイベント実施団体の募集について (公募)

近畿中国森林管理局では、平成23年度「森林ふれあい推進事業」を実施します。

- ・実施にあたっては、イベントを実施していただける団体を公募により募集し、その中から、4回のイベントを選択させていただき開催します。
- ・この事業に実施団体として参加ご希望の場合は、下記アドレスよりご覧の上、平成23年2月21日(月)までに、お申し込み下さい。

詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/fureai.html>